

## 事業実績シート

### 1 事業の概要

協会事業名	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	おおむら夏越まつり開催事業			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	大村市	観光振興課	武内 拓馬	0957-53-4111(241)
事業期間	開始年	昭和 55 年 7 月 1 日 (39 年目)		
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他[補助]			
実施期間	(開始日) H30 年 7 月 1 日    (完了日) H30 年 8 月 31 日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	(委託内容)			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	市民 観光客 おおむら夏越まつり協賛会		大村市の夏の一大イベントとして定着しており、協賛会によるまつりの安定的運営と、市内外からの誘客を図る。	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	夏越まつり協賛会が毎年 8 月 2、3 日に開催する「おおむら夏越まつり」の事業費のうち、大やぐら・舞台設営費の一部を補助する。			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景)			
	昭和 48 年から昭和 54 年まで大村青年会議所がバンバン祭を開催していたが、市民の参加意識が薄いことなどを理由にまつりの見直しが行われた。			
(経緯・現状)				
昭和 55 年に市民祭委員会が設置され、研究・勉強会を重ね、市民総参加のまつりとして、夏越まつりが開催された。このときから市も実行委員会に参加しており、会場設営費に対して、例年補助を行っている				

## 事業実績シート

### 2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算
事業費（円）		1,500,000	1,500,000	1,500,000
(財源内訳)	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	市町振興共同事業助成金	750,000	750,000	750,000
	一般財源	750,000	750,000	750,000

  

成果 (活動) 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	出演者数	総踊り、ステージイベント、 郷土芸能等	人	目標	3,000	3,000
実績					2,043	2,289	1,998
目標達成率 (%)				68.1	76.3	66.6	
②	人出数		人	目標	100,000	100,000	100,000
				実績	115,000	110,000	110,000
			目標達成率 (%)	115.0	110.0	110.0	

### 3 事業の振り返り

必要性の点検	<b>(1) 公共性評価</b> (公益性) <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス		(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス		必需 (+)  私益 (-)      公益 (+) 選択 (-)
	<b>(2) 行政関与の妥当性評価</b> 妥当性低い      妥当性高い (-)      0      (+) 		<b>(3) 廃止又は休止した場合の影響</b> (影響内容、程度等) 大村市の夏の一大イベントとして数多くの市民が参加し、楽しみにしている祭りに対して、補助金を廃止した場合、規模の縮小を余儀なくされ、安定運営ができなくなり、市民の活力の低下や、経済効果の減少などといった影響が想定される。		

## 事業実績シート

### 4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		今年は、長崎大学の学生に企画・運営の一部を依頼し、子供向けの縁日のブースを設置したため、多くの親子連れで賑わった。また、桜が原中学校の吹奏楽部に依頼し、祭りのフィナーレを飾る総踊りの演奏をしていただき、例年以上に盛り上がる事ができた。 出演者数については、「平成30年7月豪雨」の影響で災害派遣に行く団体があり、総踊りへの参加団体が減少した。	
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地			
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある	(工夫の内容・工夫の余地がない理由) まつりをもっと魅力あるものにするため、集客力のある企画の考案や、周知徹底に努める。		
実施予定 期 日 H31.7.1				
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)		
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない		おおむら夏越まつり協賛会への補助事業のため、統合は不可能である。		
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)	
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		補助事業のため、民間委託化等に該当しない。	
(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)		
<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		祭りへの補助のため、受益者負担等の考えにそぐわない。		

### 5 今後の方向性

必要性の点検から 実施(予定)時期	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
有効性の点検から 実施予定時期	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
効率性の点検から 実施予定時期	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
具体的内容	協賛会の収入確保を図るため、魅力ある夏越グッズを制作し収入の増に取組みとともに、経費削減に努める。市としても継続して補助を行い、滞在型の魅力あるイベントの企画に努め、市外・県外からの観光客誘客を図る。				